

2020 バスケットボール競技規則の変更点について

1. 変更点のポイント

- (1)最新の FIBA 競技規則(20181001)の表記変更を反映。ルールとしての変更点はなし
- (2)国内大会への適用として、【補足】を一部追記
- (3)スコアシートの記入方法の変更 (B-スコアシート)
- (4)最新の FIBA 解説(インタープリテーション 20190131)の内容に準じて、追加・削除。
- (5)3×3 競技規則、3×3 解説(インタープリテーション)は収録せず、別途、JBA ホームページに掲載 (無料ダウンロード)。

2. 変更点一覧

① 語句の表記変更 (主なもの)

変更前		変更後
コーチ	→	ヘッドコーチ
アシスタントコーチ	→	ファーストアシスタントコーチ
プレーヤー兼コーチ	→	プレーヤー兼ヘッドコーチ
オルタネイティングポゼッションアロー	→	アロー

<補足>

FIBA 競技規則に倣い、2020 競技規則内の語句は変更していますが、「ヘッドコーチ」「ファーストアシスタントコーチ」の呼称につきましては、国内では従来通り、「**コーチ**」「**アシスタントコーチ**」のままといたします。

② 変更

4-2-1 変更前

チームベンチに座り、特別な責務を担う最大 7 人のチーム関係者 (マネージャー、ドクター、トレーナー、スタッツ担当者、通訳等)

変更後

チームベンチに座ることを許された、最大 2 人のアシスタントコーチを含む最大 8 人のチーム関係者。
2 人のアシスタントコーチを置く場合、スコアシートにはファーストアシスタントコーチが記載される。

B-スコアシートの記入方法

チームファウルおよびファイティングの記入方法

③ 追加

4-3 ユニフォーム

【補足】国内大会におけるユニフォームの規定は「JBA ユニフォーム規則」に準じる。

4-4 その他の身につけるもの

【補足】国内大会におけるその他の身につけるものについては「JBA ユニフォーム規則」に準じる。

45-6 審判のユニフォームは、審判用のシャツ、黒色の長ズボン、黒色のソックスおよび黒色のシューズとする。

【補足】国内大会においては、

- ①原則夏季のゲームに限り、JBA 公認の「セカンドユニフォーム上下」の着用を可とする。
 - ②原則都道府県大会ベスト 16 以上の公式大会については、従来の JBA 公認ユニフォームを着用する。
 - ③「セカンドユニフォーム」着用の場合は上下ともセカンドユニフォームとし、審判クルーで同じユニフォームを着用する。
 - ④「セカンドユニフォーム」着用の際のソックスは黒色とする。
- ただし、上記①～④について大会主催者の考えにより変更することができる。

D3-3 没収

全文追加

④インタープリテーション補足追記

18/19-19 タイムアウト/交代

それぞれのタイムアウトは 1 分間である。

ときおり、チームが 1 分間を超えてタイムアウトを引き延ばすことで利益を得るとともにゲームの遅延も引き起こしている。審判によってそのチームのヘッドコーチには警告が与えられる。そのヘッドコーチが警告に対応しない場合、追加のタイムアウトが宣せられる。そのチームにタイムアウトが残っていない場合、ヘッドコーチにゲームの遅延によるテクニカルファウルが宣せられ、「B₁」と記入される。

ハーフタイムのあと、チームが時間通りにコートに戻らなかったとき、そのチームにタイムアウトが宣せられる。

この場合に宣せられたタイムアウトは 1 分間与えられることはなく、ゲームは速やかに再開される。

【補足】「この場合」とは、ハーフタイムのあとチームが時間通りに戻らなかったときを指す。

上記のケースにおいて、ハーフタイムから戻ってこないために宣せられたタイムアウトを除いて、その他のケースでは通常通り、1 分間がチームに与えられます。